

■ 大学院学生募集要項(願書含む)の請求方法

テレメール(インターネット・自動音声応答電話)でご請求ください。

① パソコン・スマホ・ケータイ、電話でアクセスしてください。




パソコン・スマホ・ケータイなら
<http://telemail.jp>

 バーコード


自動音声応答電話なら
IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)
※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② 大学院学生募集要項の資料請求番号を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)	発送開始日
大学院案内	569480	140円	5月下旬
大学院募集要項(看護学研究科)	589480	215円	
大学院募集要項(看護学研究科)・大学院案内	549580	250円	
大学院募集要項(診療放射線学研究科)	600500	215円	
大学院募集要項(診療放射線学研究科)・大学院案内	600510	250円	

※料金はお届けする資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従い、表示料金をお支払いください。(支払いに際して手数料が別途必要となります。)料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です(コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円。窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円)。また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

③ ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。

テレメールのパスワードをお持ちの方は不要です。

請求してから1~2日で資料が届きます

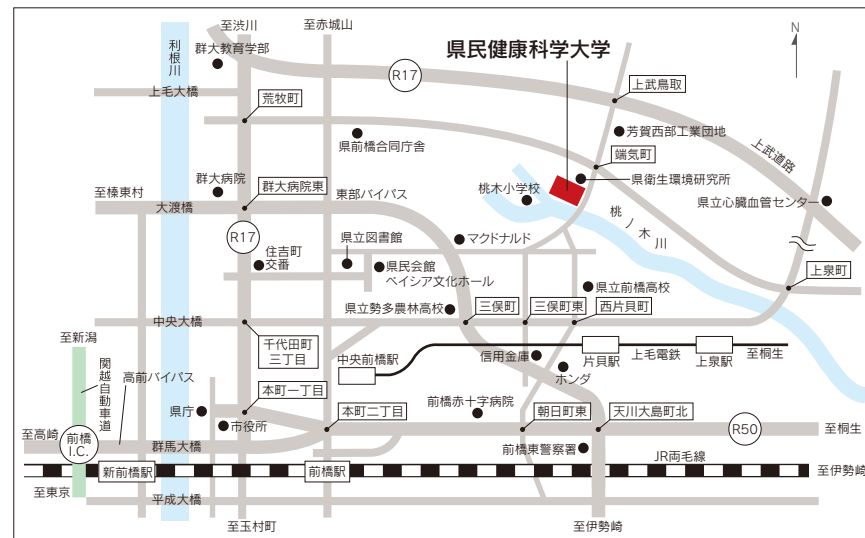
※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

テレメールカスタマーセンター **IP電話 050-8601-0102(受付時間 9:30~18:00)まで**

次の各窓口でも請求できます。

県民健康科学大学事務局・群馬県庁2F県民センター・群馬県行政県税事務所
群馬県(保健)福祉事務所



access

【公共交通機関】

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

【自動車】

- 関越自動車道「前橋I.C.」から約20分


群馬県立県民健康科学大学大学院
 Gunma Prefectural College of Health Sciences Graduate School

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211(代表) Fax.027-235-2501

URL <http://www.gchs.ac.jp/> E-mail: info@gchs.ac.jp





群馬県庁・浅間山・榛名山麓を望む前橋市郊外に立地

大学院のあゆみ

平成21年	4月	群馬県立県民健康科学大学大学院 修士課程開設(看護学研究科、診療放射線学研究科)
平成28年	4月	博士後期課程開設(看護学研究科、診療放射線学研究科) 修士課程を博士前期課程に改称
平成30年	4月	群馬県立大学法人による運営に移行

大学院のプロフィール

●看護学研究科 看護学専攻(博士前期課程)

入学定員	修業年限	学 位
8名	2年※	修士(看護学)

※最長4年まで長期履修可
※キャリア開発コースを含む
医療機関などで院内教育や管理に携わる実践的指導者となる人材を育成

看護学専攻(博士後期課程)

入学定員	修業年限	学 位
2名	3年※	博士(看護学)

※最長6年まで長期履修可
学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の発展に貢献できる人材を育成

●診療放射線学研究科 診療放射線学専攻(博士前期課程)

入学定員	修業年限	学 位
3名	2年※	修士(放射線学)

※最長4年まで長期履修可
CT・MRI・重粒子線治療など高度化が進む医療機器に対応した高度な知識・技術を持つ人材を育成

診療放射線学専攻(博士後期課程)

入学定員	修業年限	学 位
2名	3年※	博士(放射線学)

※最長6年まで長期履修可
診療放射線学分野の臨床研究者及び教育者、並びに高度医療専門職のリーダーを育成



学長 高田 邦昭 Kuniaki Takata

群馬県立県民健康科学大学は、群馬県民の「健康生活への夢の実現」という大きな期待を受け、平成17年に開学しました。医療技術の高度化・専門化が進み、県民の医療に対する需要も多様化する中で、本学は地域の医療福祉水準の一層の向上に寄与するため、平成21年に大学院修士課程(現博士前期課程)を開設しました。さらに、平成28年には大学院博士後期課程を設置し、一段と高度化していく保健医療や教育の現場で活躍するリーダー(博士)の育成にも取り組んでいます。

本学の大学院には、看護学研究科と診療放射線学研究科の二つの研究科があり、看護学・診療放射線学の理論・応用の教授・研究を通じて、高度な知識・技術を身につけます。看護学研究科では、医療機関等における実践的指導者養成とともに、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の発展に貢献できる人材を養成します。診療放射線学研究科では、高度な医療機器に対応する人材養成とともに、臨床研究者や教育者ならびに高度医療専門職リーダーの育成を行います。

本学の大学院は、医療の現場で活躍中の方々をはじめとして、社会人にも広く門戸が開かれています。職業を持つ方々のための社会人入試や、入学後も仕事を続けながら計画的に授業を受けられるよう、夜間開講、集中講義等の多様な授業方法を展開しています。

修士、博士をめざす皆さんの入学を心よりお待ちしております。

地域の保健医療水準の向上に寄与します。

社会人の積極的な受入れ

- ▶ 入学試験では、社会人特別選抜試験を実施します。
- ▶ 夜間にも授業を開講し、仕事を続けながら修学できるよう配慮します。
- ▶ 博士前期課程は、2年間相当の授業料のまま修業年限を最大4年まで、博士後期課程は、3年間相当の授業料のまま修業年限を最大6年まで延長できる長期履修制度を設けています。
- ▶ 短期大学、専門学校、各種学校の卒業者に対しても入学試験の出願資格を付与*します。
※本学が行う審査により、受験資格があると認められた方が対象。
- ▶ 科目等履修生となり、入学前に単位を取得することもできます。

博士前期課程

Master's Program in Nursing

修業年限2年	入学定員8名	学位：修士(看護学)
--------	--------	------------

平成30年度 看護教育キャリア開発コース開設
平成31年度 看護管理者キャリア開発コース新設

科学的根拠に基づく実践 (Evidence-Based Practice) の実現を目的とし、より質の高い看護を提供するための研究ができる人材及び系統立てた看護・教育を実践できる人材の育成を目指します。



看護学研究方法論Iの授業風景

博士後期課程

Doctoral Program in Nursing

修業年限3年	入学定員2名	学位：博士(看護学)
--------	--------	------------

自立的に研究を行い、看護実践に役立つ専門性の高い知識を産出し、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点をもって看護の機能を発展させることに貢献するとともに、その成果を他の看護職者に普及できる人材の育成を目指します。



実践看護学特論の授業風景

特色

看護学研究者の育成に加え、大学や専門学校など看護職養成機関の看護学教員に必要な教育実践力、または教育や看護管理責任者に必要な組織運営力を備えた人材の養成を目指す『キャリア開発コース』を設置している点が大きな特色です。

- 看護学研究科には、実践看護学と看護教育学の2領域があります。
- 各領域に『リサーチコース』と『キャリア開発コース』を置いています。
- より質の高い看護を提供するための教育及び研究を展開します。
- 看護学教員の教育能力を養うための教育及び研究を展開します。
- 院内教育を企画し実践できる能力を養う教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 巴山 玉蓮

領域	教員名	研究課題・主な研究テーマ
実践看護学	教授 石川 良樹	ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関する研究課題
	教授 狩野 太郎	老年期にある人々への看護、老年看護学に関する研究課題および、がん化学療法看護に関する研究課題
	教授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護活動に関する研究課題
	教授 高井 ゆかり	老年看護学や疼痛管理に関する研究課題
	教授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題
	教授 中西 陽子	がん及び他疾患の急性期・慢性期・終末期にある成人期の人々とその家族への看護に関する研究課題
	教授 行田 智子	妊娠期～産褥期・育児期にある人々とその家族への看護に関する研究課題
	教授 宮崎 有紀子	ヘルスプロモーション、健康づくり支援活動に関する研究課題
	教授 横山 京子	小児期にある人々への看護、小児看護学教育に関する研究課題
	准教授 飯田 苗恵	在宅看護、難病看護に関わる研究課題
看護教育学	准教授 大澤 真奈美	公衆衛生看護(保健師活動)、精神障害を持つ者への訪問看護に関わる研究課題
	准教授 廣瀬 規代美	成人看護学やがん看護に関する研究課題
	教授 松田 安弘	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	教授 山下 暢子	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	准教授 服部 美香	看護基礎教育・継続教育に関わる研究課題

特色

看護の機能の発揮に必要な能力・質の高い教育の提供に必要な能力・研究遂行に必要な能力の修得に関わる専門科目を設定し、これらの履修により得られた学修成果が「特別研究」に統合され、段階的に能力を獲得できるカリキュラムを編成している点が大きな特色です。

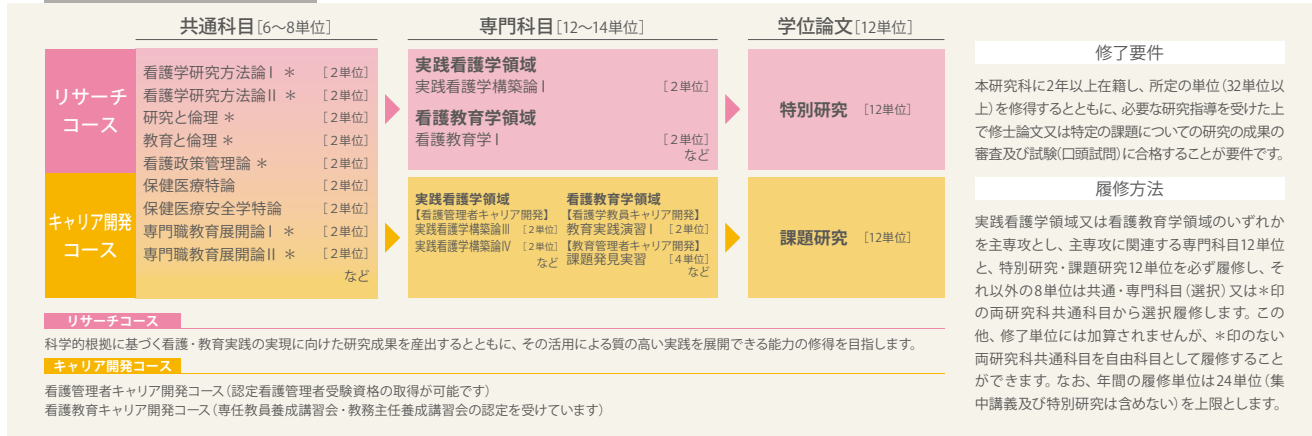
- 多職種と協働して組織運営に参画し、管理的機能を発揮するための教育及び研究を展開します。
- 高等教育としての看護教育に精通し、専門的知識・技術と指導力を駆使して質の高い教育を実践するための教育及び研究を展開します。
- 臨床現場に存在する多様かつ複雑な問題の解明とその成果の適用を通し、組織内の研究活動を推進するための教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

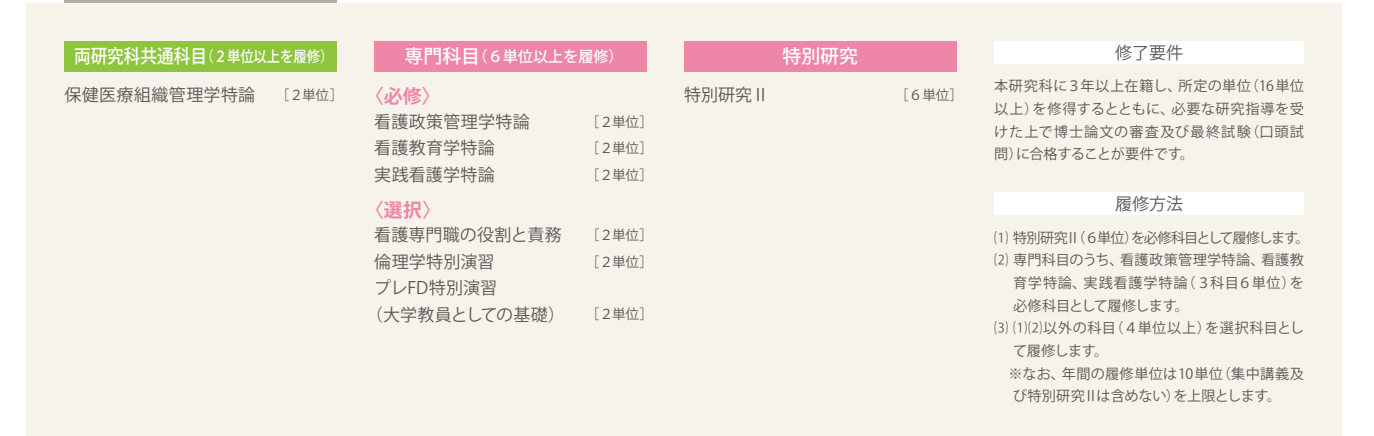
研究科長 ● 巴山 玉蓮

領域	教員名	研究課題・主な研究テーマ
機能発展看護学	教授 石川 良樹	ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関する研究課題
	教授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護活動に関する研究課題
	教授 高井 ゆかり	老年看護学や疼痛管理に関する研究課題
	教授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題
	教授 松田 安弘	看護教育に関する研究課題
	教授 宮崎 有紀子	ヘルスプロモーション、健康づくり支援活動に関する研究課題
	教授 山下 暢子	看護教育に関する研究課題

博士前期課程 授業科目



博士後期課程 授業科目



博士前期課程

Master's Program in Radiological Technology

修業年限2年	入学定員3名	学位：修士(放射線学)
--------	--------	-------------

特別研究を通じて、診療放射線学の発展に貢献するとともに高度医療専門職者、研究者及び教育者としての基礎的能力を持つ人材を育成します。

- 地域医療に貢献できる高度医療専門職者の養成
- 診療放射線学において研究者、教育者としての基礎的能力を持つ人材の養成



機能画像学特論の授業風景

博士後期課程

Doctoral Program in Radiological Technology

修業年限3年	入学定員2名	学位：博士(放射線学)
--------	--------	-------------

診療放射線学に資する高度な研究能力を有し、研究成果を、群馬県をはじめ全国各地域の放射線診療に創造性をもって展開できる次の人材を育成します。

- 診療放射線学の研究を展開できる臨床研究者の養成
- 高度な教育指導力を備えた大学教員の養成
- チーム医療を積極的に推進できる放射線技術部門のリーダーの養成



診療放射線学特別研究の様子

特色

我が国で唯一の「診療放射線学部」を基盤とし、放射線画像検査学、放射線治療学等の臨床に即した学術研究を積極的に行うことにより、人々の健康支援、疾病の早期発見、治療効果の向上に寄与する人材を育成するとともに、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野と放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析技術の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 画像評価並びに読影能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 重粒子線治療プロジェクト等に参考可能な研究能力を養う教育及び研究を展開します。

教育研究分野と担当教員

研究科長 ● 柏倉 健一

分野	教員名	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像検査学	教授 青木 武生	膜輸送と放射線の作用に関する研究 腫瘍細胞と抗がん剤の効果に関する研究
	教授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題 生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題 診療放射線技術における職場教育に関する研究課題
	教授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	教授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	教授 下瀬川 正幸	医療画像情報学に関する研究課題 診療放射線学教育に関する研究課題
	教授 瀬川 篤記	医療従事者の多職種連携に関する研究課題 医療安全に関する研究課題
	准教授 佐藤 哲大	生体医学に関する研究課題
	准教授 大崎 洋亮	核医学技術に関する研究課題
	准教授 長島 宏幸	医用画像処理技術に関する研究課題
放射線治療学	准教授 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
	准教授 渡部 晴之	医用画像処理に関する研究課題
	講師 寺下 貴美	医療情報学に関する研究課題 診療放射線学教育に関する研究課題
	教授 佐々木 浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	教授 原 孝光	放射線による殺細胞効果の増感に関する研究
	准教授 五十嵐 博	放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題
	准教授 大野 由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線(能)計測および管理・防護に関する研究課題

特色

学士課程から博士前期課程へと続く人間の尊重を重んじた教育を基盤として、臨床に即した学術研究を積極的に行うことを通じて、人々の健康支援、疾病の予防、治療効果の向上への寄与を目指すと同時に、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野と放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析の研究開発能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 高精度放射線治療の実践・推進・開発能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 放射線技術部門のリーダー育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。

教育研究分野と担当教員

研究科長 ● 柏倉 健一

分野	教員名	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像検査学	教授 青木 武生	膜輸送と放射線の作用に関する研究 腫瘍細胞と抗がん剤の効果に関する研究
	教授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題 生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題 診療放射線技術における職場教育に関する研究課題
	教授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	教授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	教授 下瀬川 正幸	医療画像情報学に関する研究課題 診療放射線学教育に関する研究課題
	教授 瀬川 篤記	医療従事者の多職種連携に関する研究課題 医療安全に関する研究課題
	准教授 佐藤 哲大	生体医学に関する研究課題
	准教授 大崎 洋亮	核医学技術に関する研究課題
	准教授 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
放射線治療学	准教授 渡部 晴之	医用画像処理に関する研究課題
	講師 寺下 貴美	医療情報学に関する研究課題 診療放射線学教育に関する研究課題
	教授 佐々木 浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	教授 原 孝光	放射線による殺細胞効果の増感に関する研究
	准教授 五十嵐 博	放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題
	准教授 大野 由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線(能)計測および管理・防護に関する研究課題

博士前期課程 授業科目

共通科目	放射線画像検査学分野	放射線治療学分野	修了要件
診療放射線学特論 [2単位]	専門科目 6単位以上を履修	専門科目 6単位以上を履修	本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(30単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格することが要件です。
研究方法論と基礎統計学 [2単位]	磁気共鳴学特論 [2単位]	放射線治療学特論 [2単位]	
放射線画像解剖学特論 [2単位]	造影検査学特論 [2単位]	先端放射線治療学特論 [2単位]	履修方法 放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、所属分野の専門科目から6単位以上と、特別研究12単位を必ず履修し、残りの12単位は他の専門科目(所属分野以外の専門科目を含む)又は共通科目から選択履修します。なお、年間の履修単位は24単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。
放射線学シミュレータ特論 [2単位]	放射線画像技術学特論 [2単位]	放射線生物学特論 [2単位]	
保健医療特論 [2単位]	放射線画像解析学特論 I [2単位]	放射線管理計測学特論 [2単位]	
保健医療安全学特論 [2単位]	放射線画像解析学特論 II [2単位]	放射線安全管理特論 [2単位]	
専門職教育展開論 I [2単位]	機能画像学特論 [2単位]	重粒子治療技術学演習 [2単位]	
専門職教育展開論 II [2単位]	核医学検査技術学特論 [2単位]		
研究と倫理 [2単位]	医療画像情報学特論 [2単位]		
教育と倫理 [2単位]			
	特別研究 診療放射線学特別研究 [12単位]		

博士後期課程 授業科目

共通科目(2単位以上を履修)	放射線画像検査学分野	放射線治療学分野	修了要件
診療放射線学教育学特論 [2単位]	専門科目 2単位以上を履修	専門科目 2単位以上を履修	本研究科に3年以上在籍し、所定の単位(12単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格することが要件です。
保健医療組織管理学特論 [2単位]	放射線画像解剖学特講演習 [2単位]	先端放射線治療学特講演習 [2単位]	
	放射線画像解析学特講演習 [2単位]	重粒子治療技術学特講演習 [2単位]	履修方法 放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、共通科目から2単位以上、所属分野の専門科目から2単位以上、特別研究6単位を必ず履修し、残りの2単位は他の共通科目又は専門科目(所属分野以外の専門科目を含む)から選択履修します。なお、年間の履修単位は8単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。
	造影検査学特講演習 [2単位]	放射線管理計測学特講演習 [2単位]	
	機能画像学特講演習 [2単位]		
	医療画像情報学特講演習 [2単位]		
	特別研究 診療放射線学特別研究 [6単位]		

博士前期課程

臨床でよりよい教育をするために
看護教育学を学びたい

伊藤 優峻さん〈前橋赤十字病院勤務〉
看護学研究科 看護学専攻 看護教育学 (H29年度入学)



私は本学卒業後、前橋赤十字病院に就労しながら、長期履修制度を利用し大学院に通っています。大学院への進学動機は、新人看護師の指導者として、うまく指導できなかった経験があったからです。その当時、教育に関する知識がなく、今まで受けてきた教育や自己の経験からでしか指導を行うことができませんでした。自分自身の中でこんな指導がしたいという漠然とした考えはありましたが、それが本当に好ましいのかどうか明確な根拠を持たないまま試行錯誤していました。このようなことから、学問として看護教育学を学習したいと考え、大学院への進学を決意しました。

大学院では、私と同じように臨床で働いている人もいれば、専門学校や大学で教員をしている方もいます。そのような方々

と学びを深めることで、視野が広がり、広い視点で看護を捉えることができるようになってきていると実感しています。また、講義やディスカッションを通して、今まで知らなかった看護の世界を知ることができ、非常に刺激的で楽しい時間を過ごしています。

指導的役割を担う看護師の経験をテーマとし、臨床で活用できるような研究成果を上げられるよう、研究活動を進めていこうと考えています。

今後は大学院で学習したことを活用し、スタッフに向けたよりよい教育的支援を行いたいと思います。また、看護師として自分自身も既存の研究成果を活用し、患者さんに質の高い看護を提供したいと考えています。

博士前期課程

好奇心に身をまかせて

佐藤 有将さん〈群馬大学医学部附属病院勤務〉
診療放射線学研究科 診療放射線学専攻 放射線画像検査学 (H29年度入学)



私は昨年本学の診療放射線学部を卒業し、一般院生として大学院へと進学しました。そして今年の1月からは大学院生をしながら群馬大学医学部附属病院で診療放射線技師として勤務しています。私が進学を考えるきっかけになったのは学部時の卒業研究です。先生の指導の下、一年半という年月をかけて課題に取り組み、研究の重要性や楽しさ、やりがいを知ることができました。しかし、それと同時に自身に足りないものがたくさんあることがわかりました。そこで、基礎的な研究方法論を学ぶとともに、今後研究を行っていく上での武器となる専門知識を身に着けたいと思い進学を決めました。

大学院ではMRI装置で取得した画像を対象に、画像処理を加えて解析することで病変の検出をサポートするシステムの開発につ

いて研究しています。この研究により読影を行う先生の負担軽減や病見の見落としの減少に繋がるのではないかと考えています。研究では行き詰まり悩むことも多々ありますが、熱心に指導して下さる先生方の元、非常に充実した日々を送ることができています。

大学院での研究および病院での臨床業務は日々、未知との遭遇であり勉強しなくてはならないことは尽きません。わからないこと1つ1つに好奇心を持って何事にも挑戦していくことが今の私には重要だと思っています。将来、世界で活躍し、医療の進歩に貢献できる人材に成長できるよう、大学院での一日一日を大切に過ごしていきたいです。

博士後期課程

看護を必要とする人へ、
必要な看護を届けるために

金子 友香さん〈群馬県立小児医療センター勤務〉
看護学研究科 看護学専攻 機能発展看護学 (H29年度入学)



私は、病棟看護師として、子どもとその家族を対象に看護をしています。日々、子どもの成長発達に触れられ、やりがいを感じることが多々あります。しかし、自らの苦痛や要望を言葉で伝えられない対象が多く、タイムリーに必要な看護を行えなかったり、看護師同士で引き継いでいけなかったりするという問題にも直面してきました。そこで、この問題を解決したいという思いを原動力に、7年前、修学部分休業制度を活用し、博士前期課程に進学し、学修と研究を行いました。その結果、直面していた問題の克服に役立つ1つの研究成果を得られました。その後、この研究成果の活用を心がけてきましたが、私一人の努力のみでは、十分な問題克服が困難であることが多く、修士論文の成果を発展させた

研究に取り組むために、博士後期課程に進学しました。その原動力は、看護を必要とする人へ、必要な看護を届けたいという思いだったように感じます。

現在、上司・同僚の協力、長期履修・科目等履修生制度の活用により、学修と研究を進めながら、病棟看護師としての仕事も続けています。そのため、新たな学びをすぐに職場に還元できたり、研究成果を活用した看護を実践できたりしています。また、職場内で新たな役割を担う際、大学院での学修成果を活かしている自分をほんの少し実感できるようになりました。今後も看護を必要とする人へ、必要な看護を届けるために、学修や研究を積み重ねていきたいと思っています。

博士後期課程

対応力が求められる時代だから

若林 康治さん〈埼玉県立小児医療センター勤務〉
診療放射線学研究科 診療放射線学専攻 放射線画像検査学 (H28年度入学)



大学全入時代によって、臨床の診療放射線技師も4年制卒が大多数を占めるようになりました。そのような中、技術だけではなく研究、育成指導や患者とのかかわりあい方、病院組織人としての教育など様々な知識と能力が求められるようになっていきます。

私自身、職場での後輩指導の難しさを感じるようになりました。これまでの自身の研究活動に加えて、臨床での教育指導能力も修得したいと思い、博士後期課程への進学を決めました。仕事と大学院の両立は難しいと感じていますが、大学院では教育学や組織管理学など、臨床ではなかなか得ることのできない知識を学ぶことができ、充実した日々を送っています。

私の専門は核医学で、脳血流と脳機能の評価法が主な研究テーマです。職場の小児では、核医学の標準的臨床画像評価など、未知な部分が多くあります。そこで、有用な評価と診断法解明に向けて、少しでもアプローチ出来るように、指導教員とともに日々考えながら研究を行なっています。核医学画像検査を受ける病気の子供達にとって、役に立つ研究論文をできるだけ多くの残したいと思っています。

時代とともに高度化する医療に対応できる能力と知識を身につけた診療放射線技師になれるよう、勉学に励みたいと思います。

平成31年度 博士前期課程

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年数	2年(但し、長期履修制度適用の場合は最長4年)	
募集人員	看護学研究科看護学専攻…………… 8名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 3名	看護学研究科看護学専攻…………… 若干名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 若干名
出願資格	次の①から⑤までのいずれかに該当する者 看護学研究科(リサーチコース)及び診療放射線学研究科 ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者 ② 学校教育法第102条第2項に該当する者であって、本学大学院において所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者 ③ 学校教育法施行規則第155条第1項第1号から第6号までのいずれかに該当し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められるもの ④ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力がある者と認められたもの ⑤ 本学大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに22歳に達するもの	看護学研究科 (1) リサーチコース 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの (2) キャリア開発コース 保健師・助産師・看護師のいずれかの資格を有し、保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの (注) 出願資格のうち「一般選抜」の②、④又は⑤により出願を行うおとする者(「社会人特別選抜」において「一般選抜」の②、④又は⑤に該当するものとして出願を行うおとする者を含む。)は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができます。
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成30年7月13日(金)～7月25日(水) (②、④又は⑤により出願を希望する者。7月25日付消印有効)	
出願期間	平成30年8月3日(金)～8月16日(木)(郵送による出願。8月16日付消印有効)	
入学試験	試験期日 平成30年9月1日(土)(予備日 平成30年度9月2日(日))	
	試験会場 群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1)	
	選抜方法 看護学研究科	(1) リサーチコース ・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「小論文」 ・「口述試験」 ・書類審査
	診療放射線学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
合格発表日	平成30年9月10日(月)	
入学手続期間	平成30年9月25日(火)～10月1日(月)(郵送、10月1日必着)	
入学試験料	30,000円	
授業料等(平成30年4月1日現在)	入学生(県内者：入学料について群馬県内者は半額)141,000円 (県外者)282,000円 / 授業料 535,800円(年間)	
	・夜間開講、集中講義、長期履修制度により、社会人学生の学業と仕事の両立に配慮しています。	

【2次募集】

上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり2次募集を行います。2次募集の有無については、平成30年10月2日(火)以降に本学ホームページ上で公表します。

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年限・出願資格・試験会場・選抜方法・入学試験料・授業料は1次募集と同様です。		
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成30年12月14日(金)～平成31年1月4日(金)(「個別入学資格審査」により出願を希望する者。1月4日付消印有効)	
出願期間	平成31年1月11日(金)～1月24日(木)(郵送による出願。1月24日付消印有効)	
試験期日	平成31年2月9日(土)	
合格発表日	平成31年2月15日(金)	
入学手続期間	平成31年2月26日(火)～3月4日(月)(郵送、3月4日必着)	

平成31年度 博士後期課程

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年数	3年(但し、長期履修制度適用の場合は最長6年)	
募集人員	看護学研究科看護学専攻…………… 2名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 2名	看護学研究科看護学専攻…………… 若干名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 若干名
出願資格	次の①から⑩までのいずれかに該当する者、又は次の①から⑩までのいずれかに平成31年3月31日までに該当する見込みの者 両研究科共通 ① 修士の学位又は専門職学位を有する者 ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥ 外国の学校、出願資格④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同程度の学力があると認められた者 ⑦ 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号) ⑧ 本学大学院において個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに24歳に達するもの	看護学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑩までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑩までのいずれかに該当するもの (注) 出願資格のうち「一般選抜」の⑦又は⑩により出願を行うおとする者(「社会人特別選抜」において「一般選抜」の⑦又は⑩に該当するものとして出願を行うおとする者を含む。)は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができる。
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成30年7月13日(金)～7月25日(水) (⑦又は⑩により出願を希望する者。7月25日付消印有効)	
出願期間	平成30年8月3日(金)～8月16日(木)(郵送による出願。8月16日付消印有効)	
入学試験	試験期日 平成30年9月1日(土)(予備日 平成30年度9月2日(日))	
	試験会場 群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1)	
	選抜方法 看護学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
	診療放射線学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
合格発表日	平成30年9月10日(月)	
入学手続期間	平成30年9月25日(火)～10月1日(月)(郵送、10月1日必着)	
入学試験料	30,000円	
授業料等(平成30年4月1日現在)	入学生(県内者：入学料について群馬県内者は半額)141,000円 (県外者)282,000円 / 授業料 535,800円(年間)	
	・夜間開講、集中講義、長期履修制度により、社会人学生の学業と仕事の両立に配慮しています。	

※本学大学院博士前期課程から引き続き博士後期課程に入学される場合は、入学料はかかりません。

【2次募集】

上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり2次募集を行います。2次募集の有無については、平成30年10月2日(火)以降にホームページ上で公表します。

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年限・出願資格・試験会場・選抜方法・入学試験料・授業料は1次募集と同様です。		
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は審査出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成30年12月14日(金)～平成31年1月4日(金) (⑦又は⑩により出願を希望する者。1月4日付消印有効)	
出願期間	平成31年1月11日(金)～1月24日(木)(郵送による出願。1月24日付消印有効)	
試験期日	平成31年2月9日(土)	
合格発表日	平成31年2月15日(金)	
入学手続期間	平成31年2月26日(火)～3月4日(月)(郵送、3月4日必着)	